

DEH-P930 取付説明書

1 組み合わせ システムの組み合わせについて

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

© パイオニア株式会社 2007

< KMMZX > < 07L00000 > < CRA4122-B/N >

はじめに 1 接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



トラスネジ
(5 mm × 8 mm) × 4



固定ネジ × 1



皿ネジ
(5 mm × 9 mm) × 4

コード関係



電源コード × 1



RCAコード × 1



音響特性測定用
マイク × 1
(取扱説明書)



AUXケーブル
(1 m) × 1
(取扱説明書)

システム一覧表

次のようなシステム構成にすることができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

	接続 2	接続 7	接続 8	接続 9	接続 10	接続 11
本機 (「DEH-P930」)	○	○	○	○	○	○
5.1ch対応・DSPユニット (「DEQ-P9」)		○	○	○	○	○
マルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など)		○	○	○	○	○
6ディスク マルチDVD-V/VCD/CD・WMA/MP3対応プレーヤー (「XDV-P70」など)		○	○	○	○	○
HDDナビゲーションセット (「AVIC-HRV002」など)		○	○	○	○	○
TV音声入力コネクター (「CD-AV20」など)				○		
光デジタル端子変換コネクター (「CD-DD25」など)					○	
6.5型ワイドインダッシュTV/DVD-V/CD・MP3対応 DVDナビゲーションセット (「AVIC-DRV005」など)						○
7.0型ワイドTV付DVD-V/CD・MP3対応 DVDナビゲーションセット (「AVIC-DRV002」など)						○
HDDナビゲーションオートサーバーセット (「AVIC-XH099」など)						○
7.0型ワイドTV付DVDナビゲーションセット (「AVIC-DRO01」など)						○

○ 印：
組み合わせで使用することができます。

メモ：

RCA/IP-BUSインターコネクター（「CD-RB20」など）を組み合わせると、市販のポータブル機器やVTRなどの外部機器の音声を聞くことができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

2 組み合わせ 本機に「DEQ-P9」を接続したときのシステムについて

光デジタル入力接続表

本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続したシステムには、パイオニア製DVDプレーヤーなどを組み合わせることができます。「DEQ-P9」は光デジタル入力を2系統装備しているので、DVDプレーヤーなどのデジタル出力を持った機器を同時に2台接続できます。「DEQ-P9」の光デジタル入力1、光デジタル入力2に接続できる機器には、それぞれ制限があります。下の表を参照して、正しく接続してください。

* 接続する端子を誤ると、音声为正しく出力されない場合や、コントロールできなくなる場合があります。

* AUX接続となる機器の場合は、接続した機器のソースに合わせてデジタル/アナログ切り換えを行ってください。(取扱説明書)

* 接続について、詳しくは販売店にご相談ください。

	DEQ-P9 (接続先)		OPT. IN 1へ	OPT. IN 2へ
接続 7	DEQ-P9	+	XDV-P70	+ AVIC-HRV002
接続 8	DEQ-P9	+	XDV-P70	+ AVIC-DRV005
接続 9	DEQ-P9	+	XDV-P70	+ AVIC-DRV002
接続 10	DEQ-P9	+	XDV-P70	+ AVIC-XH099
接続 11	DEQ-P9	+	XDV-P70	+ 使用しません

接続 1 接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けたとき、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、プースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

IP-BUS、光デジタルラインの接続について

- IP-BUSおよび光デジタルラインの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクターの接続部分が色分けされています。）
- 光デジタルラインを接続するときは、キャップを外してから接続してください。

ノイズ防止のために

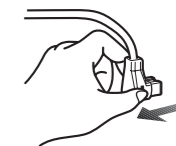
- アンテナコードは、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

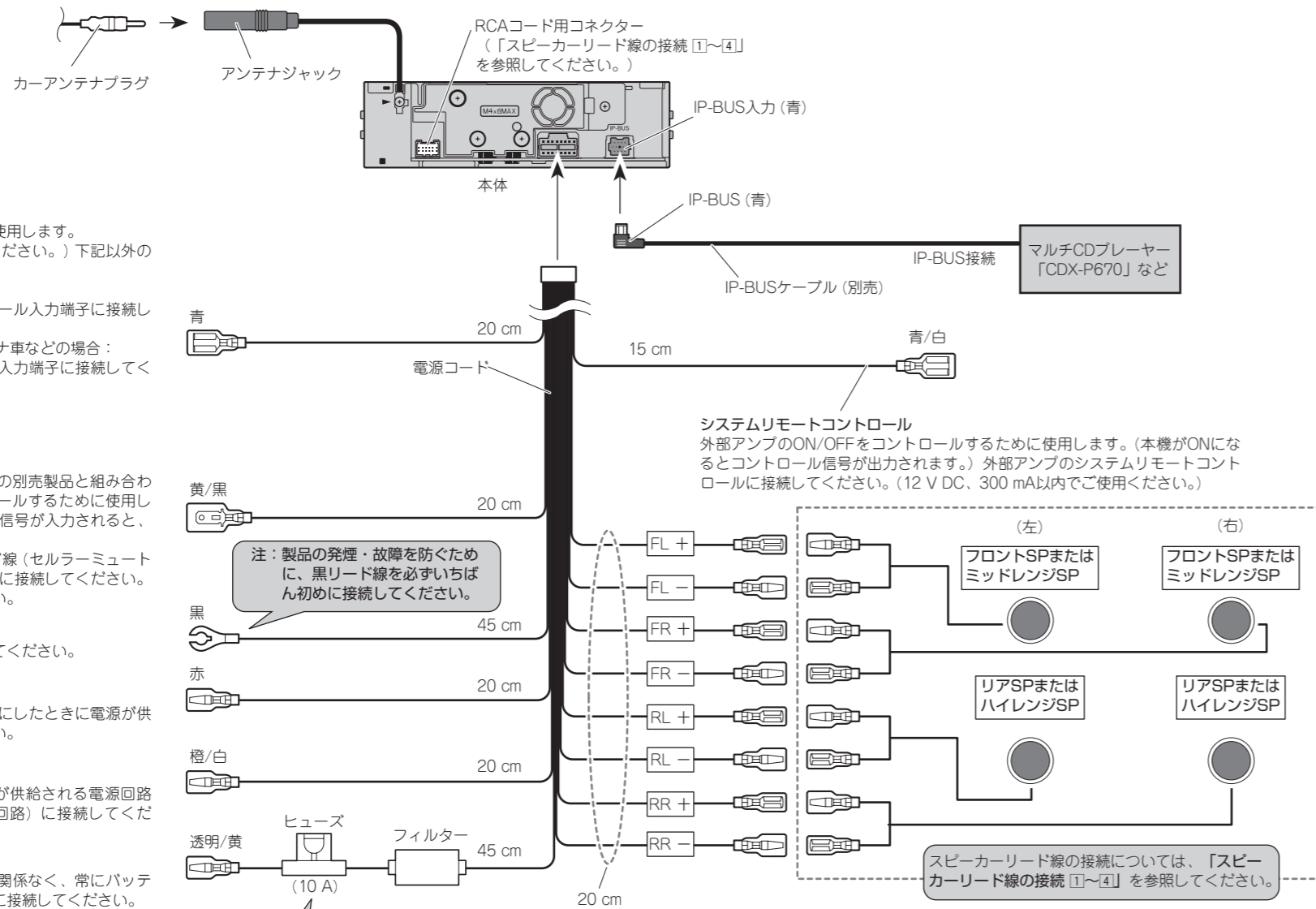
- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



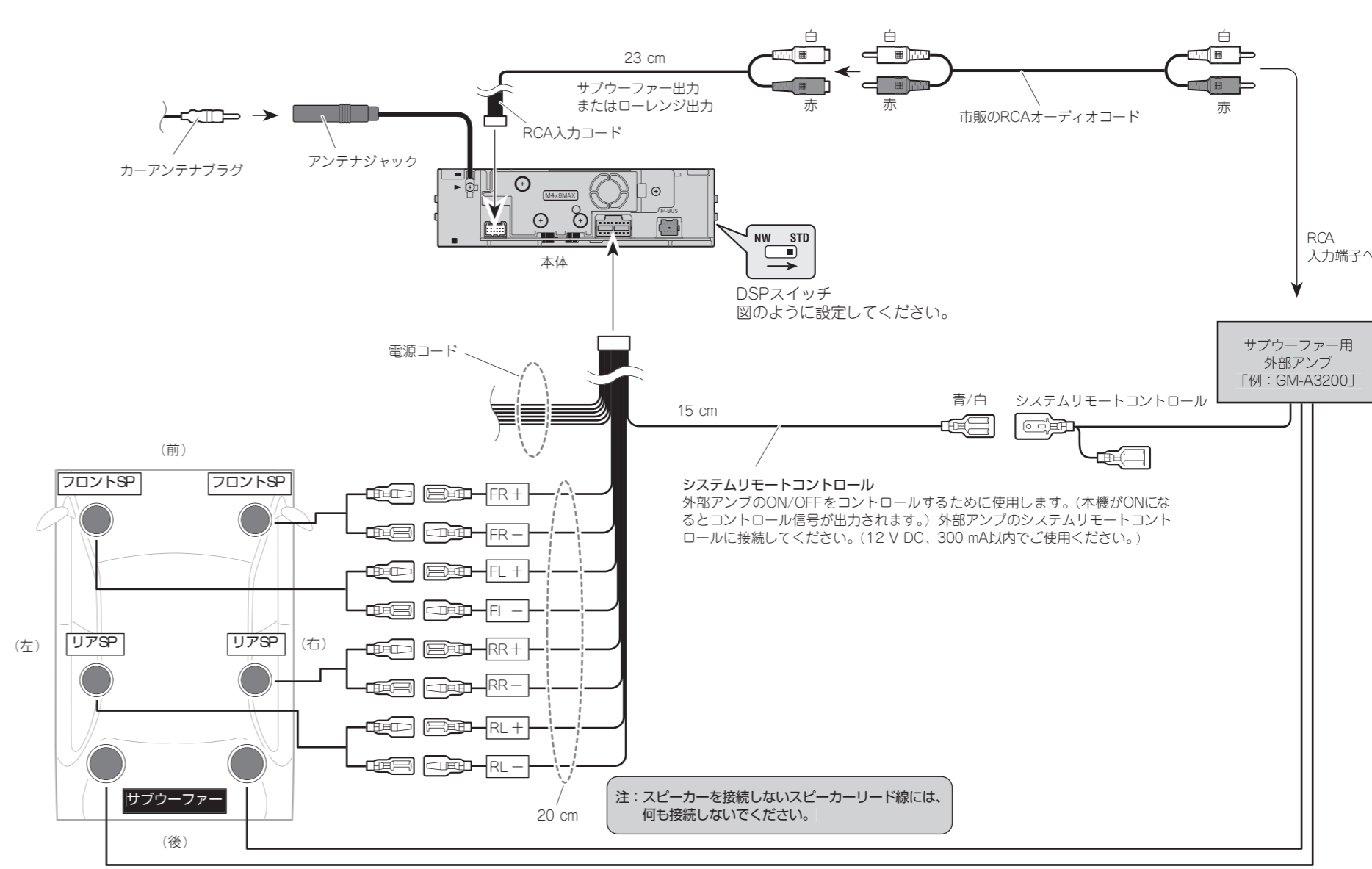
注：赤、橙/白、透明/黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

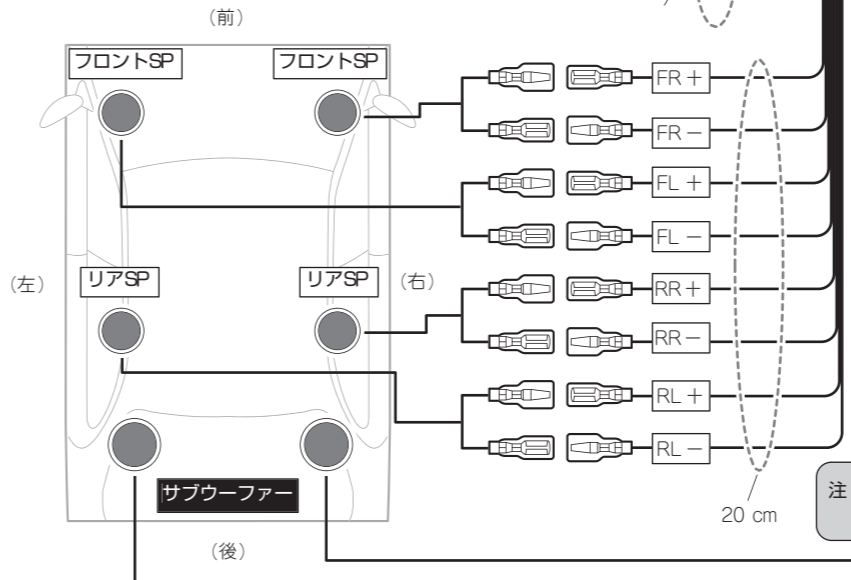
注：電源コード線の、ヒューズから本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

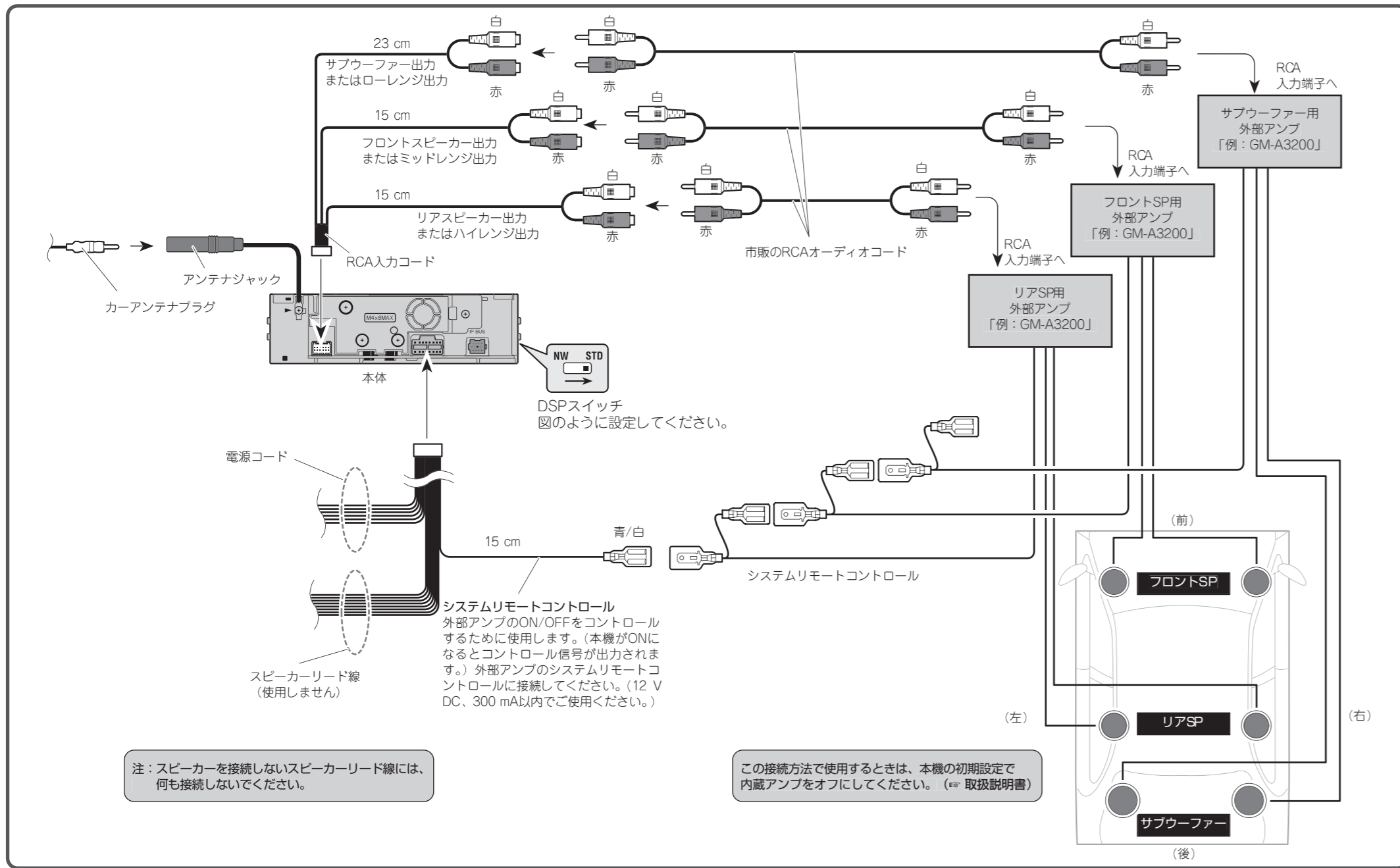


DSPスイッチ 図のように設定してください。



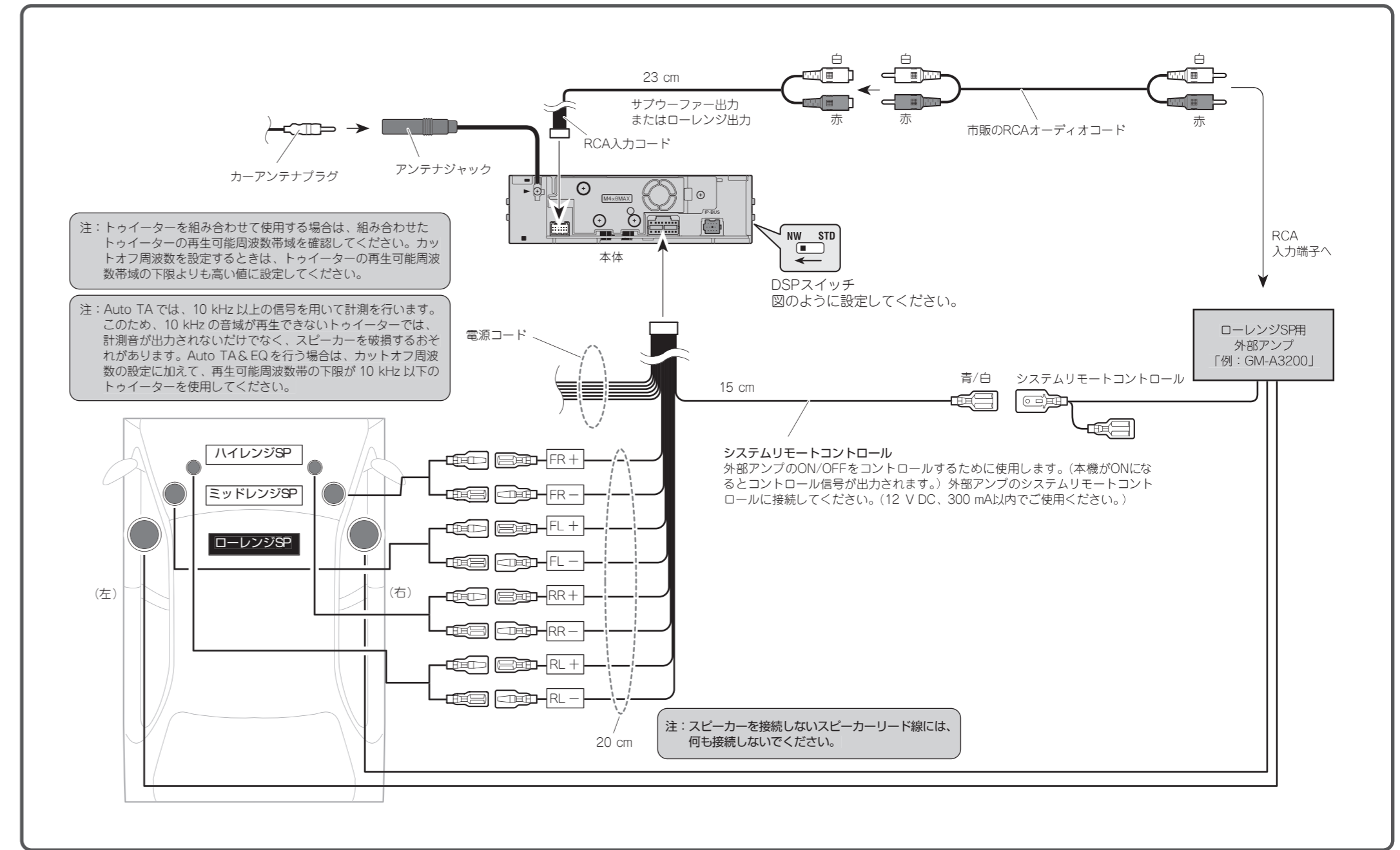
接続 4 **スピーカーリード線の接続 2 (STDモードで内蔵アンプを使用しない場合)**

詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください



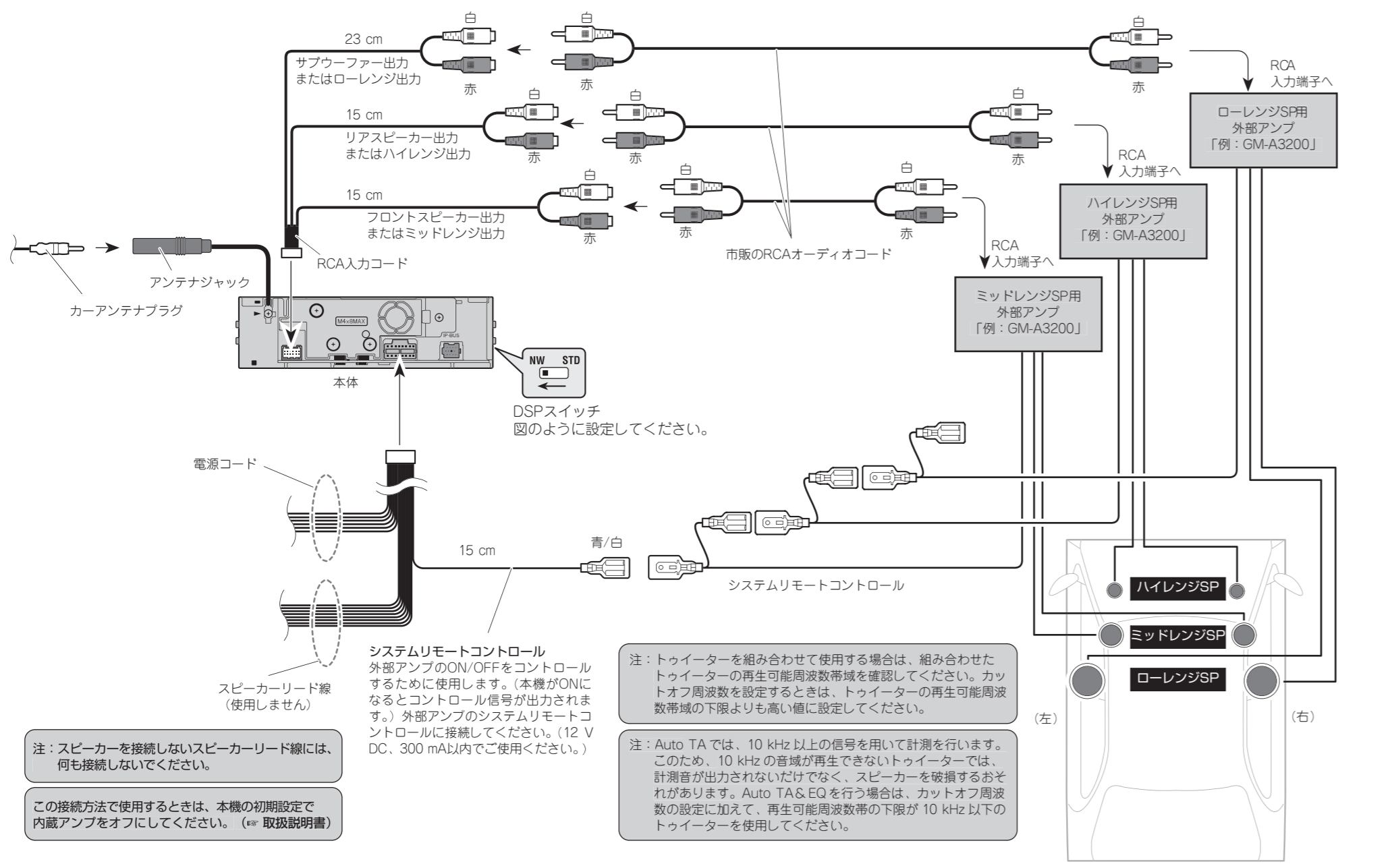
接続 5 **スピーカーリード線の接続 3 (NWモードで内蔵アンプを使用する場合)**

詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください



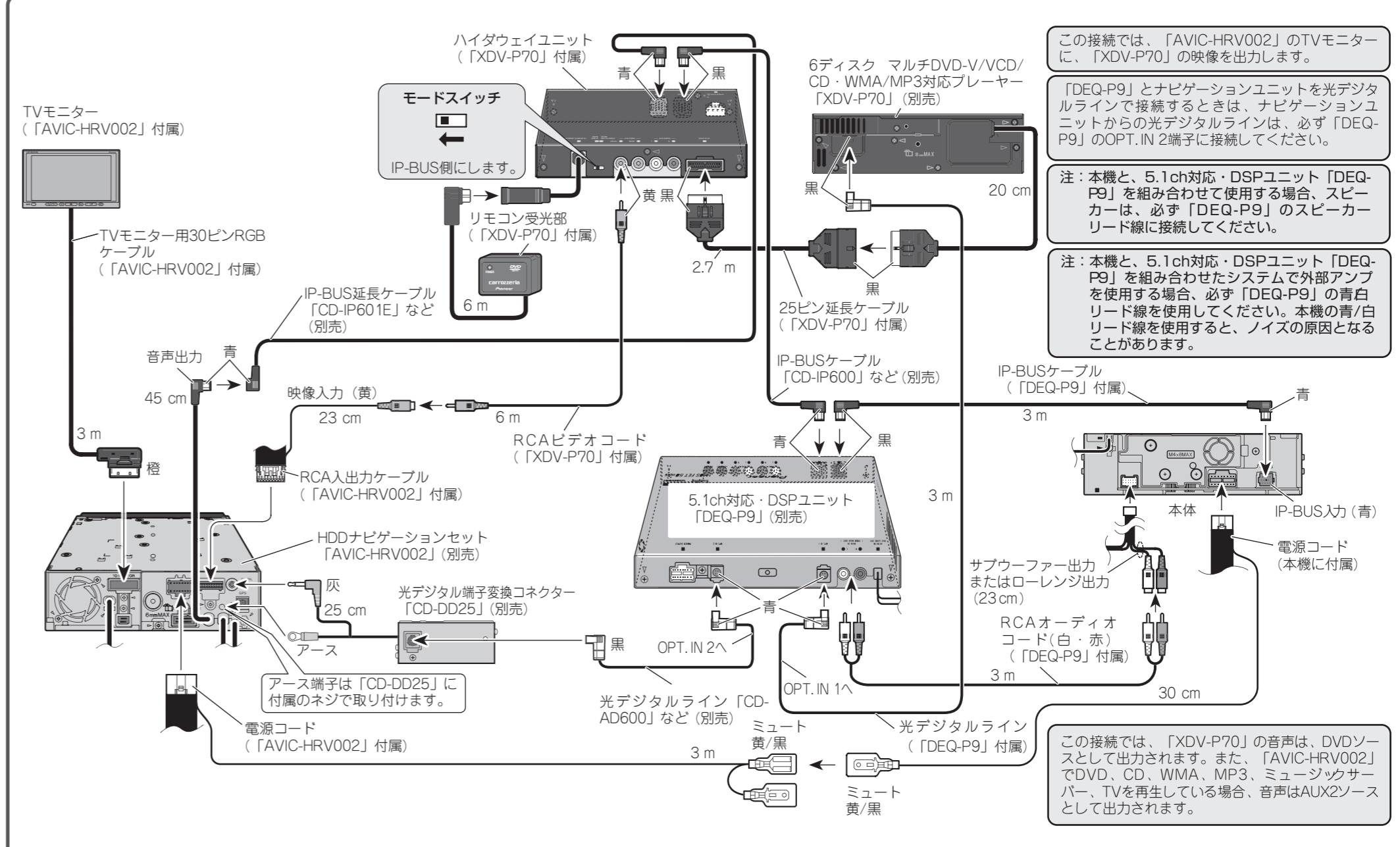
接続 6 **スピーカーリード線の接続 4 (NWモードで内蔵アンプを使用しない場合)**

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



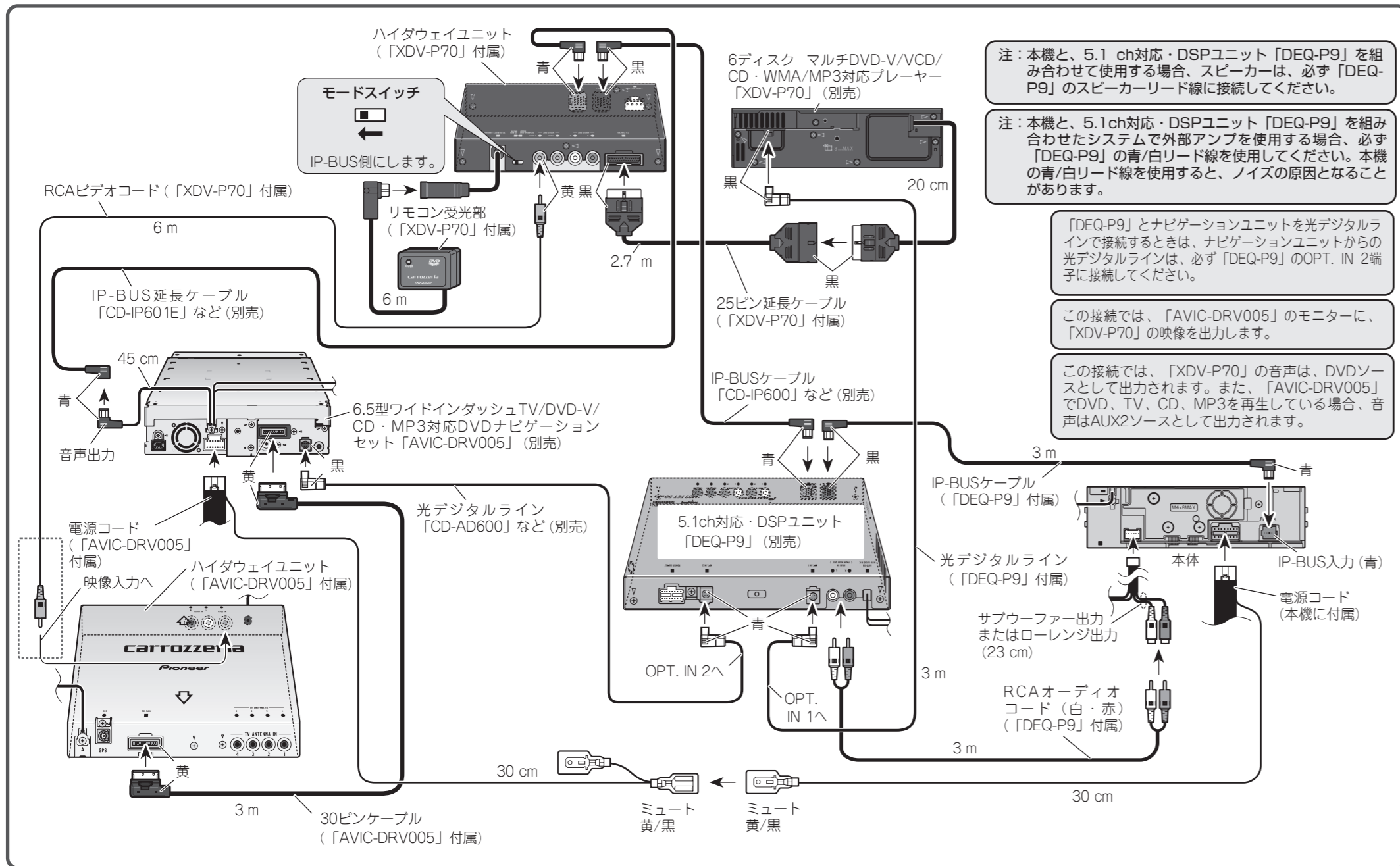
接続 7 **AVIC-HRV002 (OPT. IN 2接続)、XDV-P70 (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9との組み合わせ**

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



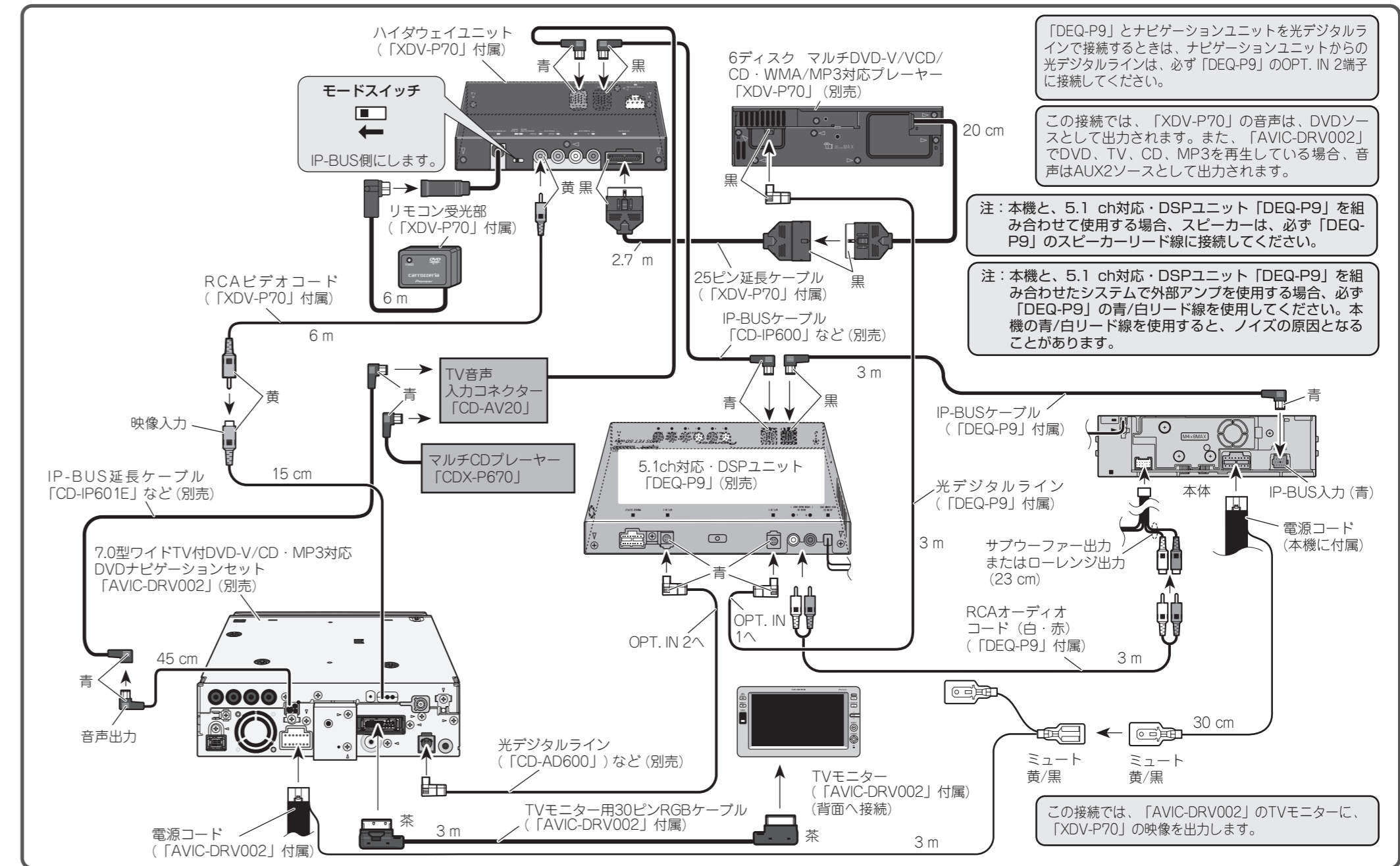
接続 8 AVIC-DRV005 (OPT. IN 2接続)、XDV-P70 (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9との組み合わせ

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



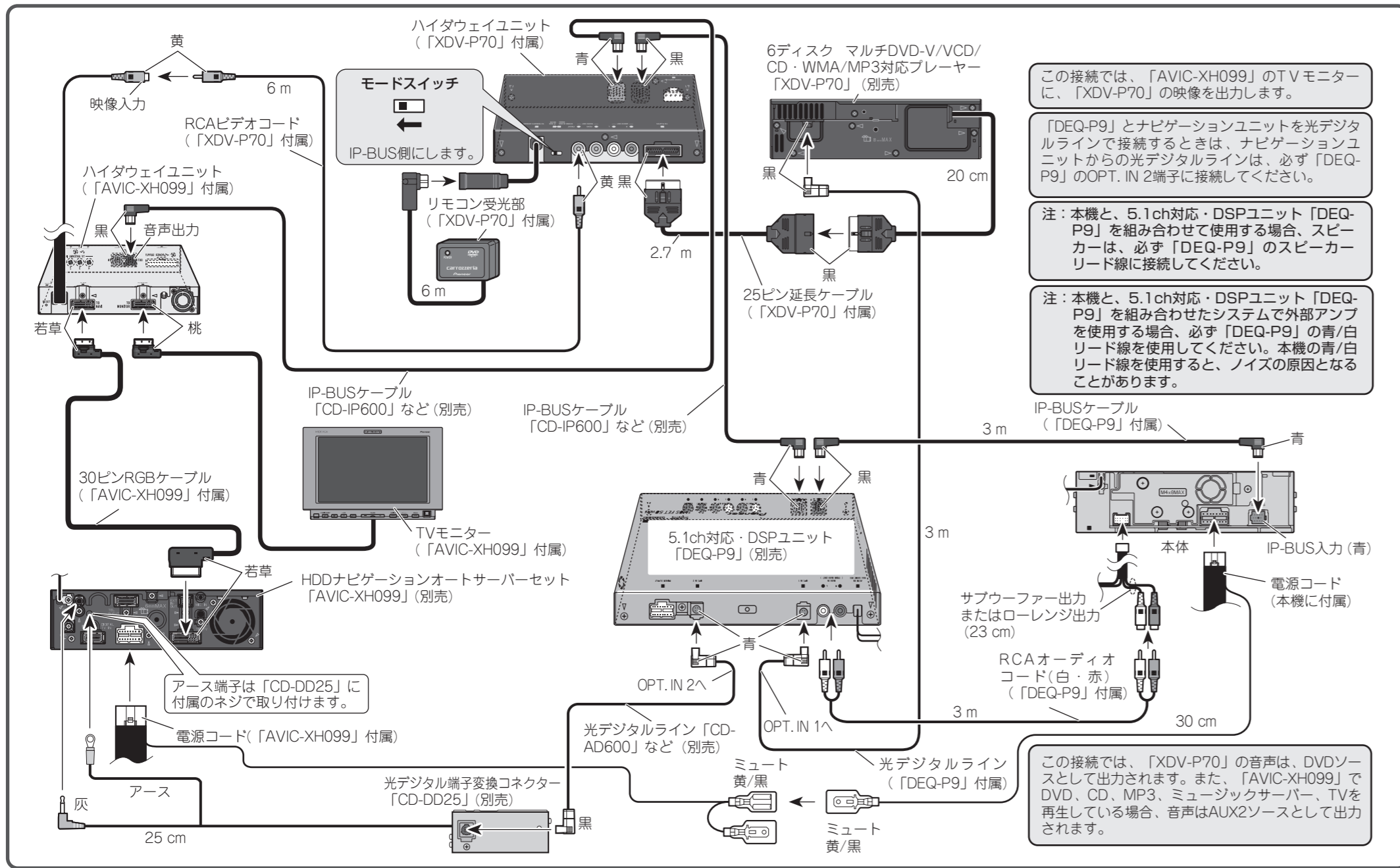
接続 9 AVIC-DRV002 (OPT. IN 2接続)、XDV-P70 (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9、CDX-P670との組み合わせ

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



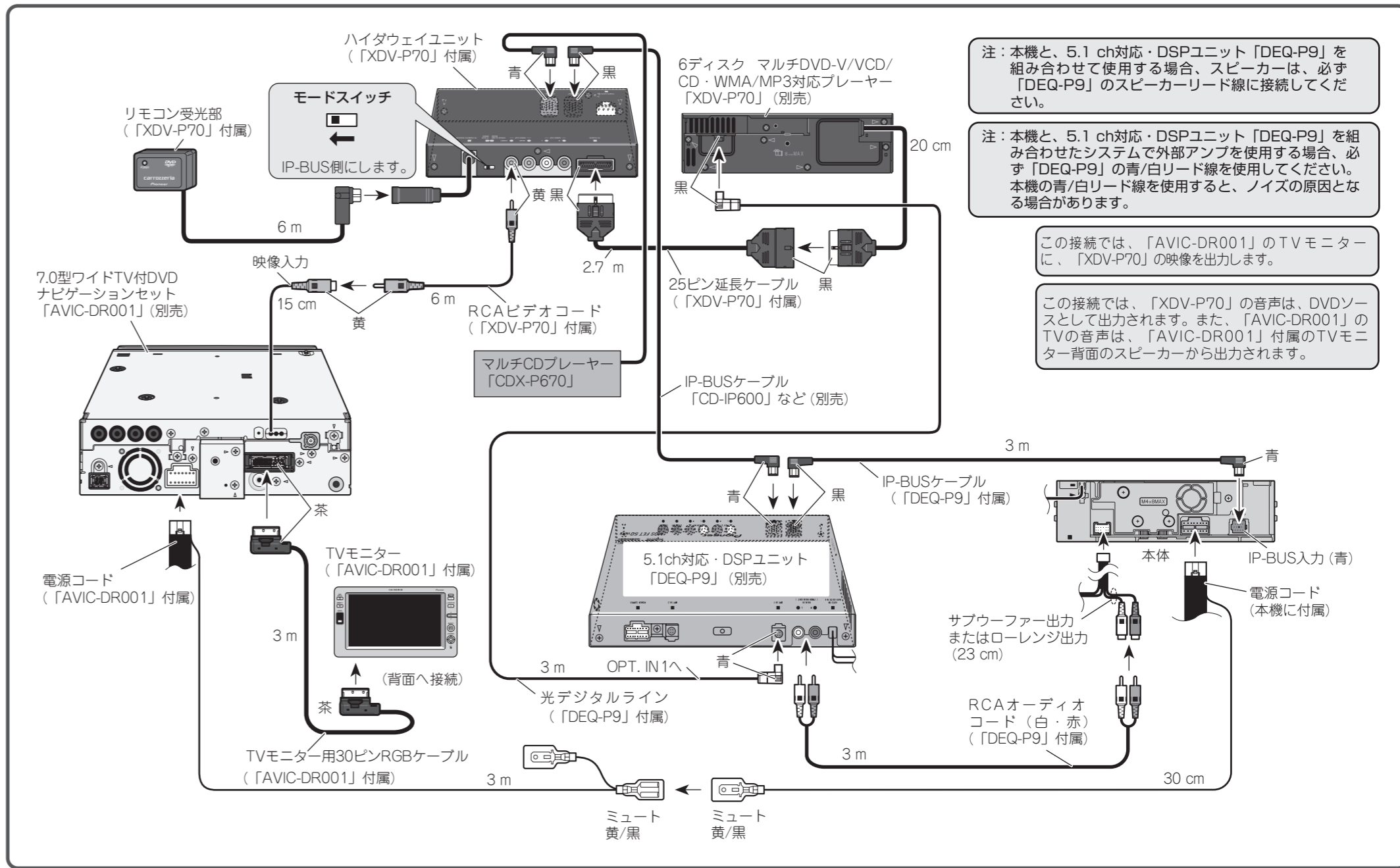
接続 10 AVIC-XH099 (OPT. IN 2接続)、XDV-P70 (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9との組み合わせ

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



接続 11 AVIC-DR001、XDV-P70 (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9、CDX-P670との組み合わせ

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



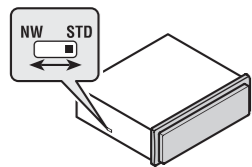
設定 1 DSPモードを切り換える

本機の内蔵DSPには、3-wayネットワークモード（NW）とスタンダードモード（STD）の2つの動作モードがあります。お好みにあわせてモードを切り換えることができます。

出荷時はスタンダードモードになっています。

1 DSPモードを切り換える

ペン先などで好みのモードに切り換える



2 本機をリセットする

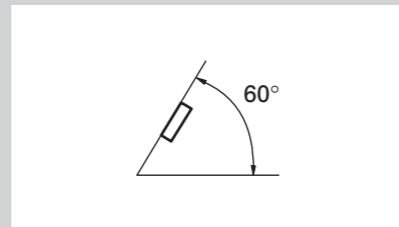
メモ

- リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態に戻ります。
- リセットボタンを押すことで、設定したDSPモードが有効になります。
- 本機と5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を組み合わせているときは、どちらのモードに設定しても効果はありません。「DEQ-P9」に内蔵のDSPが優先されます。

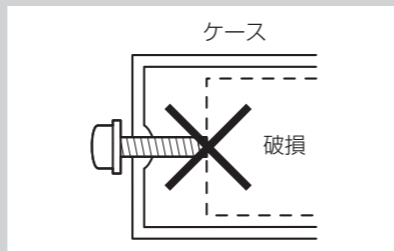
取付 1 取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して60度以内の角度で取り付けてください。



- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



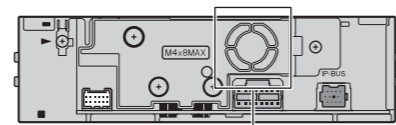
取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

本機の放熱を妨げないために

- コード類は、下図の部分をつさがないように配置してください。



この部分をふさがないでください。

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

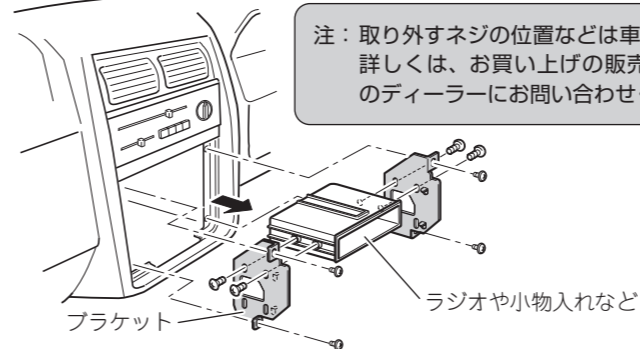
取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

取付 2 本体を取り付ける

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



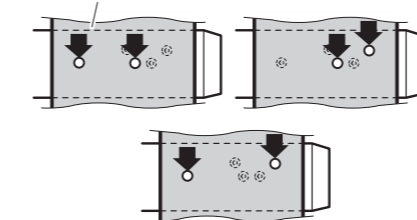
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

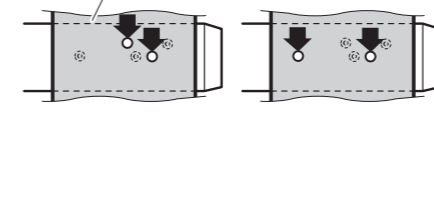
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



日産車の場合

日産車ブラケット

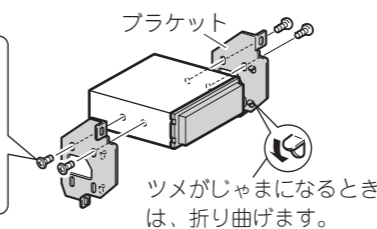


3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。



動作確認 1 動作を確認する

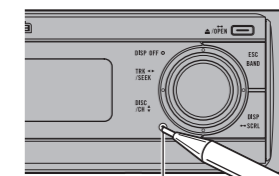
接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

3 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する

(※ 取扱説明書)